

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		療養の給付		款	1	項	1	目	1	事業	1	整理番号	612		
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	595			
上位施策No・施策名		102 老人保健医療事業の運営		予算事業区分								既定事業			
事業開始		昭和	▼	58	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業		
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		医療保険に加入している75歳以上と障害認定を受けた65歳以上の区内在住者		根拠法令等		(1) 老人保健法(18年6月30日高齢者の医療の確保に関する法律に改正 20年4月1日後期高齢者医療制度施行) (2) 老人保健法施行令							
事務事業の概要		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○加齢に伴う心身の状況に応じた適切な医療を提供し、高齢者の健康を保持する。		活動指標名(式)		(1) 老人保健医療特別会計の医療費支払件数 (2) 老人保健医療特別会計の医療費支払金額									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○老人保健医療受給者が医療等を受けたときに、医療機関から受給者の一部負担金分を除く額が請求される。区は、請求内容について専門機関での審査を経た後、当該医療機関に医療費の支払いを行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
				成果指標名(1)		高齢者1人当たり年間受診回数									
				算定式・指標の説明等		活動指標(1) / 老人医療対象者数									
				成果指標名(2)		高齢者1人当たり年間医療費									
				算定式・指標の説明等		活動指標(2) / 老人医療対象者数									
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	件	1,737,707	161,645	181,497	90,748	1,161	1,703	68.2	1.3				
	活動指標(2)	②	千円	37,882,150	3,779,000	3,787,064	128,052	37,619	55,200	68.2	29.4				
	成果指標(1)	③	回	36	3	4	2	0.02	0.03	66.7	1.1				
	成果指標(2)	④	円	774,702	77,023	77,188	2,609	767	1,125	68.2	29.4				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	36,508,063	3,403,776	3,403,776	47,367	23,575	36,000	21年度予算執行率%		49.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0	この評価表は「No.613」、「No.614」を含んだ老人保健事務について一体的に評価しており、評価や方向性についての記載内容は上記の事業を代表しています。					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	6.00 3.00	2.00 0.00	3.00 0.00	1.00 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	○計画と実績に差が生じているのは、交付金の支払い方法が変更になったためです。					
	人件費	⑨	千円	54,840	18,100	27,150	8,879	4,440	4,440						
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	8,310	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	36,571,213	3,421,876	3,430,926	56,246	28,015	40,440						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	21,046	21,169	18,903	620	24,130	23,746						
	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
	国からの補助金等	⑭	千円	35,216,002	936,670	829,082	77,640	0	22,077						
都からの補助金等	⑮	千円		234,167	218,146	6	0	1							
その他の補助金等	⑯	千円		2,183,769	2,083,989	6	3,537	1							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	35,216,002	3,354,606	3,131,217	77,652	3,537	22,079							
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	1,355,211	67,270	299,709	▲ 21,406	24,478	18,361							
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 612

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				療養の給付	335
		その他 ()			0
	(2)事業実績	老人保険制度に係る平成20年3月までの診療分は平成22年度まで特別会計において処理することとされたため、当事業においては、医療の現物給付に係る支払い等の事務処理を行いました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年10月に老人保健法が改正され、患者負担の見直し・対象年齢の引上げ・公費負担割合の引上げが実施されました。更に平成18年10月に患者の自己負担割合の変更が実施されました。平成20年度からは老人保健制度は後期高齢者医療制度に移行しました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	老人医療費の自己負担が増加傾向にあることに不満を持ちながらも、高齢者自身も応分の負担をすべきという意見もありました。制度が複雑で分かりにくいという声が多く聞かれました。			
	今後の予測	平成20年度から、後期高齢者医療制度に移行しました。今後は平成20年以前に係る療養の給付事務のみとなります。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容		
			老人医療制度により高齢者が安心して医療を受けることができ、病気の早期発見・治療に役立ちました。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)		医療制度改革に伴い、平成20年度から後期高齢者医療制度が発足し、保険者が東京都後期高齢者医療広域連合になりました。		
	②成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容→)		医療制度改革に伴い、平成20年度から後期高齢者医療制度が発足し、保険者が東京都後期高齢者医療広域連合になりました。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)		後期高齢者医療制度では、被保険者本人から保険料を徴収し、高齢者の保険給付費の一部をまかなうことになりました。		
(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)		後期高齢者医療制度では、広域連合が保険者となるため、コストの削減が可能と考えます。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[その他]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		老人保健制度は一定の役割を終え、平成20年度からは後期高齢者医療制度に移行しました。平成22年度までは老人保健特別会計が存続するため、平成20年3月以前の請求遅れ分の老人医療の現物給付に係る事務を着実に進めています。平成23年度以降に関しては、特別会計か一般会計かを選択し事務処理を行うこととなりますので、療養の給付事務等実績の推移に留意し、老人保健医療に係る経費を適切に見積り、どちらの会計で行うことが望ましいかを検討していくことが課題と考えます。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 平成20年度から後期高齢者医療制度に移行しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由 老人保健に係る療養の給付は、平成20年3月以前に行われた診療の請求遅れ分に限られるため、減少していきます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		療養費の支給		款	1	項	1	目	2	事業	1	整理番号	613		
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	596			
上位施策No・施策名										102	老人保健医療事業の運営		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	58	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等		(1) (2)						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)					活動指標名(式)		(1) (2)						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○高齢者が保険医療機関において、やむをえない理由で医療費の全額を支払った場合などに、申請により本人負担分を除く額を支給 ○同一月に医療機関に支払われた一部負担金の合計額が、自己負担限度額を超えた場合に高額医療費を支給					成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		算定式・指標の説明等		成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績								
指標	活動指標(1)	①	件												
	活動指標(2)	②	千円												
	成果指標(1)	③													
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,374,087	383,289	383,288	19,321	14,044	19,200	21年度予算執行率% 72.7					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 この評価表は老人保健事務について一体的に評価しており、評価や方向性にかかる項目の記載内容は「No.612」と同じです。					
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.30 0.00	0.50 0.00	1.80 0.00	1.00 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	30,162	4,525	16,290	8,879	4,440					4,440	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,404,249	387,814	399,578	28,200	18,484	23,640						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円												
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	204,546	89,877	181	0					11,759	
		都からの補助金等	⑮	千円		51,140	24,238	6	0					0	
		その他の補助金等	⑯	千円		476,882	230,525	6	2,324					0	
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	732,568	344,640	193	2,324	11,759						
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	1,404,249	▲ 344,754	54,938	28,007	16,160	11,881						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 613

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			療養費の支給		826
		その他 ()			0
	(2)事業実績	一部負担金を除いた医療費の還付や高額医療費の支給を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか	左の理由または具体的内容			
	<input type="text"/>				
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか				
	<input type="text"/>				
	②成果向上のための方策				
<input type="text"/>					
(3)受益者負担の見直し余地は					
<input type="text"/>					
(4)コストを下げる余地はあるか					
<input type="text"/>					
協働等点検	(1)協働等の実現しているか	(2)協働等の相手			
	<input type="text" value="十分に実現している"/>	<input type="text" value="社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)"/>			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方			
	<input type="text" value="協働[その他]"/>	<input type="text" value="実施継続"/>			
評価と課題					

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由		

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		診療報酬審査・支払手数料		款	1	項	1	目	3	事業	1	整理番号	614			
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係		連絡先電話番号		1283		昨年度整理番号	597				
上位施策No・施策名										102	老人保健医療事業の運営		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等		(1) (2)							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)					活動指標名(式)		(1) (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○東京都国民健康保険団体連合会・東京都社会保険診療報酬支払基金に診療報酬明細書の審査及び支払事務を委託し、その手数料を支払う。					成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画		実績		目標値(目録値)			
指標	活動指標(1)	①	件													
	活動指標(2)	②	千円													
	成果指標(1)	③														
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	177,850	17,969	15,806	316	37	96	21年度予算執行率% 11.7						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 この評価表は、老人保健事務について一体的に評価しており、評価や方向性に係る項目の記載内容は「No.612」と同じです。						
	(内)委託費	⑦	千円	0	17,969	15,806	316	37	96							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.80 0.00	0.30 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.47 0.00	0.40 0.00							
	人件費	⑨	千円	7,312	2,715	7,240	7,103	4,173	3,552							
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	185,162	20,684	23,046	7,419	4,210	3,648							
	単位あたりコスト	⑫	円	$((11)-(6)) \div (1)$												
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0			
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円	/	17,969	15,567	0	0	0							
特定財源計		⑰	千円	0	17,969	15,567	0	0	0							
差引:一般財源		⑱	千円	185,162	2,715	7,479	7,419	4,210	3,648							
受益者負担比率	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 614

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			診療報酬審査支払手数料	335	件
		その他 ()			0
	(2)事業実績	平成20年3月までの診療分については、東京都国民健康保険団体連合会・東京都社会保険診療報酬支払基金に診療報酬明細書の審査及び支払事務を委託していますので、その手数料を支払いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか	左の理由または具体的内容			
	<input type="text"/>				
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか				
	<input type="text"/>				
	②成果向上のための方策				
<input type="text"/>					
(3)受益者負担の見直し余地は					
<input type="text"/>					
(4)コストを下げる余地はあるか					
<input type="text"/>					
協働等点検	(1)協働等の実現しているか	(2)協働等の相手			
	<input type="text" value="十分に実現している"/>	<input type="text" value="社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)"/>			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方			
	<input type="text" value="協働[その他]"/>	<input type="text" value="実施継続"/>			
評価と課題					

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由		

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		国庫支出金等返納金		款	2	項	1	目	1	事業	1	整理番号	615		
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	598			
上位施策No・施策名										102	老人保健医療事業の運営		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	58	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			国庫支出金等超過交付金の返還		根拠法令等	(1) 補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律第18条第2項 (2)							
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○前年度に、国、都及び支払基金から概算交付された交付金を精算するための返納金。			活動指標名(式)		(1) 支払い回数 (2)								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○前年度の国庫支出金等の超過交付金を精算するための返納金を支出			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	件	1	0	2	0	2	0						
	活動指標(2)	②	千円												
	成果指標(1)	③													
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	7,012	23,950	23,950	2,079	2,079	20,000	21年度予算執行率% 100.0					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○21年度は前年度中に交付金の返納を行ったため、例年より返納額が少なくなっています。					
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.20 0.00	0.10 0.00	0.20 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,828	905	1,810	888	888	888					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	8,840	24,855	25,760	2,967	2,967	20,888						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	8,840,000		12,880,000		1,483,500							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	8,840	24,855	25,760	2,967	2,967	20,888						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 615

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				国庫支出金等返納金	2
		その他 ()			0
	(2)事業実績	前年度に概算交付された都支出、支払基金の超過交付金を実績に基づき返納しました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	前年度に概算交付された国庫支出金や都支出金等の交付金について実績に基づき超過交付があった場合に返納するため、平準化することはありません。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	住民の意見はありません。			
	今後の予測				
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由→)		左の理由または具体的内容		
			前年度の国・都・社会保険診療報酬支払基金からの交付金を精算するためです。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)		前年度の国・都・社会保険支払基金からの交付金を精算するだけの事業であるためです。		
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		前年度の交付金が超過交付になった場合だけ支出(返還)する事業のためです。		
(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)		前年度の交付金が超過交付になった場合だけ支出(返還)する事業のためです。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 行政直轄			
評価と課題					

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由		

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 616

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				過誤納納付金等の還付	1
		その他 ()			0
	(2)事業実績	第三者納付金の過誤納付に関する還付金はありませんでしたが、負担割合変更に伴う差額還付の事務処理を確実にいたしました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成20年度をもって老人保健制度が終了し、20年4月から後期高齢者医療制度に移行しました。今後、老人保健に係る事務は平成20年3月以前の診療分に限られるため、過誤納納付金等の還付事業に関しても対象件数が減となります。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	事業に対する住民の意見は特にありません。			
	今後の予測				
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 小(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	20年3月以前の診療分に負担割合変更等があり、還付が生じる場合のみのためです。			
	②成果向上のための方策				
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	20年3月以前の診療分に負担割合変更等があり、還付が生じる場合のみのためです。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	20年3月以前の診療分に負担割合変更等があり、還付が生じる場合のみのためです。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 行政直轄			
評価と課題	老人保健制度は平成19年度で終了し、平成20年4月以降は、19年度の診療分に係る事務処理のみとなります。今後は遡って負担割合が変更になった場合等の支出(還付)となります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由		

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		一般会計繰出金		款	2	項	2	目	1	事業	1	整理番号	617			
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	高齢者医療係			連絡先電話番号	1283		昨年度整理番号	新				
上位施策No・施策名										102	老人保健医療事業の運営		予算事業区分	新規事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 老人保健法第47条～第50条 (2)									
	事業の目標	（対象をどのような状態にしたいのか） 一般会計が当該年度に立替負担していた過年度分の医療費交付金を一般会計へ返還することにより老人保健事業における区の負担金を法で定めた金額とすること。			活動指標名(式)		(1) 返還義務額 (2) 返還義務件数									
	活動内容	（事務事業の内容、やり方、手順） 過年度分の医療費交付金及び前年度からの繰越金（前年度収入の過年度分医療費交付金等）について、一般会計へ返還を行う。			成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 繰出金 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 繰出件数 算定式・指標の説明等									
区分		単位	19年度	20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績	計画	実績	計画	実績	計画(目標値)								
指標	活動指標(1)	①	千円				483,176	483,174	14,270	3385.9	100.0					
	活動指標(2)	②	件				1	1	1	100.0	100.0					
	成果指標(1)	③	千円				483,176	483,174	14,270	3385.9	100.0					
	成果指標(2)	④	件				3.0	3.0	1.0	300.0	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円				483,176	483,174	14,270	21年度予算執行率%			100.0			
	(内)投資的経費等	⑥	千円				0	0	0	特記事項 ○老人保健法に係る医療費が減となるに伴い交付金も減となるため、前年度事業費に比し大幅な減となっています。						
	(内)委託費	⑦	千円				0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				0.01	0.00	0.01					0.00	0.01	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	89	89					89		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	483,265	483,263	14,359							
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円				1,000	1,000	1,006							
	財源	受益者負担分	⑬	千円				0	0					0		
		国からの補助金等	⑭	千円				70,772	70,771					11,361		
		都からの補助金等	⑮	千円				0	0					2,847		
		その他の補助金等	⑯	千円				239	239					55		
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	71,011	71,010	14,263							
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	0	0	0	412,254	412,253	96							
受益者負担比率⑬÷⑪		%				0.0	0.0	0.0								

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 617

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		支払基金交付金・過年度分の繰出	1	件	239
	国庫支出金・過年度分の繰出	1	件	70,772	
	前年度繰越金の繰出	1	件	412,163	
	その他 ()			0	
	(2)事業実績				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成21年度から開始した新規事業です。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	事業に対する住民の意見は特にありません。			
	今後の予測	平成21年度に続き、22年度も過年度分の医療費交付金及び繰越金について返還を行います。老人保健医療会計は、23年度以降は特別会計として存続するか否かを選択することとなっていますが、一般会計として処理をすることに決定した場合、当事業は不要となります。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 小(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	老人保健制度における一般会計の負担を適正な金額とするために必要です。			
	②成果向上のための方策	法定負担割合を超えた繰入金について返還を行う事業であるためです。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	過年度分の医療費交付金等を財源としているためです。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	支払基金、国、都が医療費交付金の過年度交付を取り止め、現年での交付を行うようになれば可能です。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方 行政直轄			
評価と課題		老人保健医療会計は、23年度以降は特別会計として存続するか否かを選択することとなっていますので、十分な検証を行うことが課題です。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	老人保健法に係る医療費は減となるため、それに伴い交付金額も減となるためです。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		予備費充当		款	3	項	1	目	1	事業	1	整理番号	618				
担当部課名		政策経営部財政課		係名		連絡先電話番号		1423		昨年度整理番号		600					
上位施策No・施策名										102 老人保健医療事業の運営		予算事業区分		既定事業			
事業開始		昭和		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号		施策番号		事業コード		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		老人保健医療会計		根拠法令等		(1) 地方自治法第217条 (2) 杉並区予算事務規則第22条									
事務事業の概要	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○地方自治法第217条の規定に基づき、予算外の支出または予算超過の支出に備える。		活動指標名(式)		(1) (2)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○予算外の支出に対する予備費の充当 ○予算超過の支出に対する予備費の充当 ○予備費充当は、実際に執行する予算事業科目に所要額をつけかえて行うため、本事業での決算額は常に0円である。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
	成果指標名(1)		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%		計画に対する21年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画		実績		計画(目標値)				
指標	活動指標(1)		①														
	活動指標(2)		②														
	成果指標(1)		③														
	成果指標(2)		④														
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	0	58,202	0	8	0	0	0	21年度予算執行率%		0.0			
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	0	特記事項 21年度は予備費充当がありませんでした。					
	(内)委託費		⑦	千円	0	0	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	0	91	0	89	0	0						
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	0	58,293	0	97	0	0	0						
	単位あたりコスト		⑫	円													
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		⑮	千円	/		0	0	0	0								
その他の補助金等		⑯	千円	/		0	0	0	0								
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源⑰-⑫		⑱	千円	0	58,293	0	97	0	0								
受益者負担比率⑬÷⑪			%			0.0		0.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 618

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2)事業実績			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初予算額の推移 平成(14)年度971,857千円、(15)858,254千円、(16)803,487千円、(17)809,568千円、(18)805,690千円、(19)787,050千円 (20)90,216千円、(21)8千円			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測	新たな高齢者医療制度の創設により、老人保健医療会計は精算的医療費のみとなっており、当該特別会計は22年度をもって廃止します。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 小(理由→)		左の理由または具体的内容		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→) ②成果向上のための方策		新たな高齢者医療制度の創設により、老人保健医療会計は精算的医療費の支給のみとなっており、22年度をもって廃止します。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)		予算外の支出、予算超過に対して充当するための予算であり、本事業では直接予算執行は行いません。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[事業の統廃合](具体的内容→)		性質上、受益者負担になじみません。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか	(2)協働等の相手			
	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方			
評価と課題		高齢者医療の制度改正により、老人保健医療会計は、医療費請求の時効まで科目存置的に維持し、22年度をもって廃止します。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	高齢者医療の制度改正により、老人保健医療会計は、医療費請求の時効まで科目存置的に維持し、22年度をもって廃止します。